



社会的背景・要請

※「社会に開かれた教育課程」を実現するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図り、「カリキュラム・マネジメント」を展開していく。

- 「主体的・対話的で深い学び」の実装
- 多様性の包摂
- 実現可能性の確保

V ビジョン 「チャレンジャーを育成する！」  
 「生涯にわたって学び続け、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働して問題解決を図り\*、豊かな人生を切り拓き、民主的で持続可能な社会の創り手となる人間の育成」を図っていく。（\*協働的に議論し納得解を生み出し解決を図っていく）他者と協働するためには、他者への尊重が必要。

◇社会の動向

- ・将来の変化を予測することが困難な時代（「非連続」と言えるほど、劇的に変わる状況）
- ・Society 5.0 (AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス、イノベーション)
- ・地球規模の諸課題：飢餓・格差・感染症の拡大・気候変動・自然環境や資源の有限性・紛争など国境を超えた課題

持続可能な社会の創造・WELL-BEINGの向上

学習指導要領・昭島市教育振興基本計画（「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」「輝く未来に向かって」）

V ビジョン チャレンジャーを育成する！ 児童一人一人の Well-being から玉川小学校全体の Well-being の向上へ

教育目標

玉川小〈育てたい子供像〉「自らの人生を自らの力で切り拓き、持続可能な社会の創造を担う人材の育成～Think Globally. Act locally.～」

○ 精いっぱい学習する子（知） 自ら学び考え判断し、協働して問題解決を図る子

○ 人のためにつくす子（情） 自らのよさを見つめ、他者を尊重し、共によりよく生きようとする子

○ すすんで体をきたえる子（意） 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子

○ すすんで体をきたえる子（体） 自らすすんで心と体をきたえる子

M ミッション 目指す教師像：「児童一人一人が、次のことを確信できるよう働きかけられる教師」  
学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！ 授業は自分たちが主人公！ 誰一人取り残されない！

課題（調査結果・観察等）

◇ 確かな学力の定着と伸長〈知〉

令和4～6年度「全国学力・学習状況調査」結果 A～D層の割合（％）

	国語		算数		※ ※+	※ ※+
	R6	R7	R6	R7		
A	13.2	16.1	18.7	16.3	22.3	+5.4
B	23.8	23.5	20.4	26.5	27.2	+0.7
C	30.6	36.8	30.6	30.9	25.1	-5.8
D	32.3	23.6	30.6	36.5	25.4	-11.1

・「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく育てる。  
 ・基準量・比較量・割合の意味理解・意味概念の把握

- 知識（事実に基づく知識・概念的知識）・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力等の育成  
・読み解く力の育成 ・論理的表現力
- 学びに向かう力・人間性等（主体的な学習態度）

「個別最適な学び」と「協働的学び」の具現化

◇ 豊かな人間性の育成〈情・意〉

○ 「4月の頃と比べて、地域のことが分かったり地域に関心をもつようになりましたか。」「とても思う」、「思う」と回答した児童の割合（％）12月18日現在	1・2年	87.6%
	3・4年	97.6%
	5・6年	92.5%

- 自ら進んで挨拶する
  - 多面的・多角的に考え、自己の生き方を見つめ直す力
  - 社会性の育成 ● 学級力格差の是正
  - 人間関係調整能力
- 主権者教育（自律・自立）  
 ○ チャレンジ精神・生き抜く力  
 ○ 学級力の向上  
 ○ 人権尊重の精神・道徳心や規範意識、社会性の育成

ウェルビーイングの向上

◇ 体力・健康・安全にかかわる力〈体〉

〈日々の生活から〉 ● 規則正しい生活習慣の確立  
 〈体力・運動能力、運動習慣等調査結果から〉  
 男子・女子ともに、合計得点は全国・東京平均並みである。● 「全身持久性」と「巧緻性」に課題があり、縄跳び運動などのねばり強く続けていく運動や、すばやい動きが必要な運動を積極的に行う必要がある。  
 〈生活実態から〉 ● 肥満化傾向⇒進んで運動しようとする態度の育成

- 基本的な生活習慣の確立
  - 健康・体力を保持増進
  - 危機回避能力の育成
- 健康で安全な生活とスポーツの実現

◇ 学校力の強化〈指導力・組織力〉

- ◎ 学年の連携：当該学年の学習・生活指導の共通理解・共通実践 ● 「報告・連絡・相談」の徹底
- 教職員の働き方改革 ● チーム学年専科：温度差
- 学校経営への参画意識の向上・創造性の発揮
- 危機管理意識の向上及び、服務規律の確立

- 教師の指導力の向上
  - 学年・専科のチーム力向上
  - 説明・結果責任の明確化
- チームビルディング  
認め合い・支え合い・高め合い

P パッション 子供の成長を教育活動のど真ん中におく！

課題解決策

学力向上プラン

- 1 教師一人一人の指導力の向上を図る！：「玉小授業カスタム」の目標値を設定し、スタンダードに基づき指導法の改善を不断を図る。
- 2 授業の質的向上を図る！：学力調査の結果分析による授業改善のポイントの明確化及び授業改善のPDCAサイクル化を図る。玉川タイムを活用して10チャレの確実な実施。
- 3 指導計画の改善を図る！：各教科の指導計画を、授業観察及び研究授業の結果を反映するとともに、カリキュラム・マネジメントの観点から改善していく。
- 4 教室環境・言語環境の改善を図る！：インクルーシブ教育の推進とユニバーサルデザイン（安心して間違えられる、失敗できる）から環境整備を図る。
- 5 昭島市民科の指導計画を創造する！：指導内容とSDGs及び主権者教育との関連・学年の系統化を図る。

人間力向上プラン

- 6 休業日明け、「子供のストレスチェック表」に基づく児童支援、「SOSの出し方に関する教育」、「コミュニケーションタイム」等、人間関係を深め広げる場を設定する。
- 7 チーム玉小でアセスメントを丁寧に行い、いじめ・不登校・自殺等の未然防止、早期解決を図る。
- 8 「主体的・対話的で深い学び」を推進するための学級力の向上を図る：玉小学級カスタム標準のPDCAサイクル化を図る。
- 9 児童が主体となった（互いのよさを認め合える・望ましい人間関係を育む価値の高い）学校行事を創造する。
- 10 道徳的諸価値について、価値・人間・他者理解を深め、自己の生き方を見つめ直す道徳科授業の充実を図る。

体力向上プラン

- 11 「グッドモーニング60分」、「元気アップガイド」活用の「見直し」と「振り返り」の充実を図る。
- 12 体育科授業の質的向上を図る！：体力調査等の結果分析に基づく授業改善のPDCAサイクル化（運動量の保証）を図る。
- 13 週1回、休み時間（中休み）を効果的に活用し持久性 or 敏捷性に重点をおいた遊びを学級全員で実施する。
- 14 体育科授業の準備運動の最後に、持久性 or 敏捷性を伸ばす運動を導入する。
- 15 危機管理意識・危機回避能力を育成する生き方指導の充実（セルフ・モニタリング、セルフ・コントロール）を図る。

学校力向上プラン

- 16 外部（地域）人材の積極的活用
- 17 教育活動の説明・結果責任の充実（保護会・HPの充実・日常化）
- 18 チームとしての学年会・専科会、ブロック会（学習・生活指導の共通理解・実践）の充実
- 19 日常の授業実践に繋がる実践的な校内研究の充実
- 20 コンプライアンス・働き方改革の実践（教職員から「ホト7ツツ」の服務規律の確保及び働き方改革の推進）